



**TAKARA
& COMPANY**

2021年5月期 第3四半期

決算説明会

第84期（2020年6月～2021年2月）

証券コード7921

目次

1. 連結決算概要

2. 主要製品の受注状況

3. 中計2023の進捗状況・成長戦略

4. 株主還元

2021年5月期第3四半期 サマリー

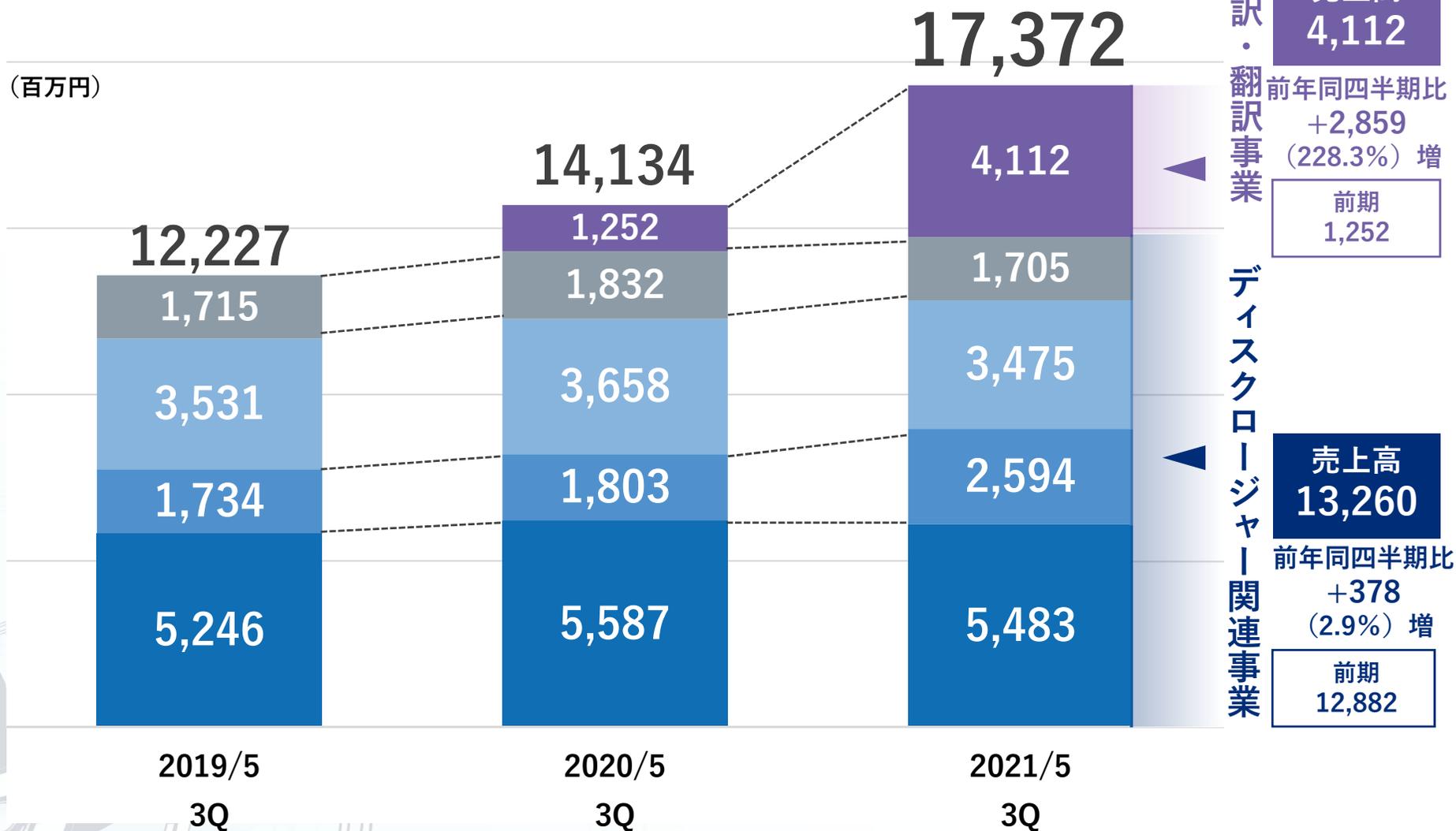
	2020/5 3Q		2021/5 3Q		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	14,134	100.0	17,372	100.0	3,238	22.9
売上原価	8,553	60.5	10,371	59.7	1,817	21.2
売上総利益	5,580	39.5	7,001	40.3	1,420	25.5
販管費合計	4,000	28.3	5,566	32.0	1,566	39.2
営業利益	1,580	11.2	1,434	8.3	△145	△9.2
経常利益	1,638	11.6	1,587	9.1	△50	△3.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,016	7.2	817	4.7	△198	△19.5

	2020/5	2021/5 3Q	増減
総資産 (百万円)	26,450	29,035	2,584
純資産 (百万円)	16,582	21,221	4,639
自己資本比率 (%)	60.8	71.0	10.2Pt

連結売上高推移

■ディスクロージャー関連事業 (■金商法 ■会社法 ■IR ■その他)

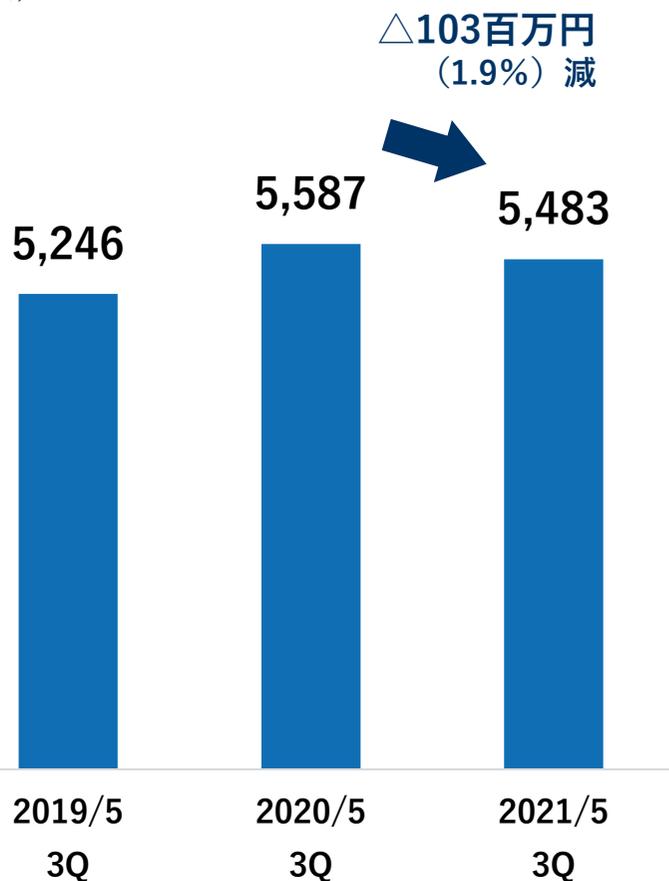
■通訳・翻訳事業



セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	有価証券報告書、目論見書 開示書類作成支援ツール「X-Smart.」等
金融商品取引法		

(百万円)



主な増減要因

- ・ 前期に大口の決算、開示に係る支援等のコンサルティングがあったため減少
- ・ 開示書類作成支援ツール「X-Smart.シリーズ」の導入顧客数は堅調に推移している

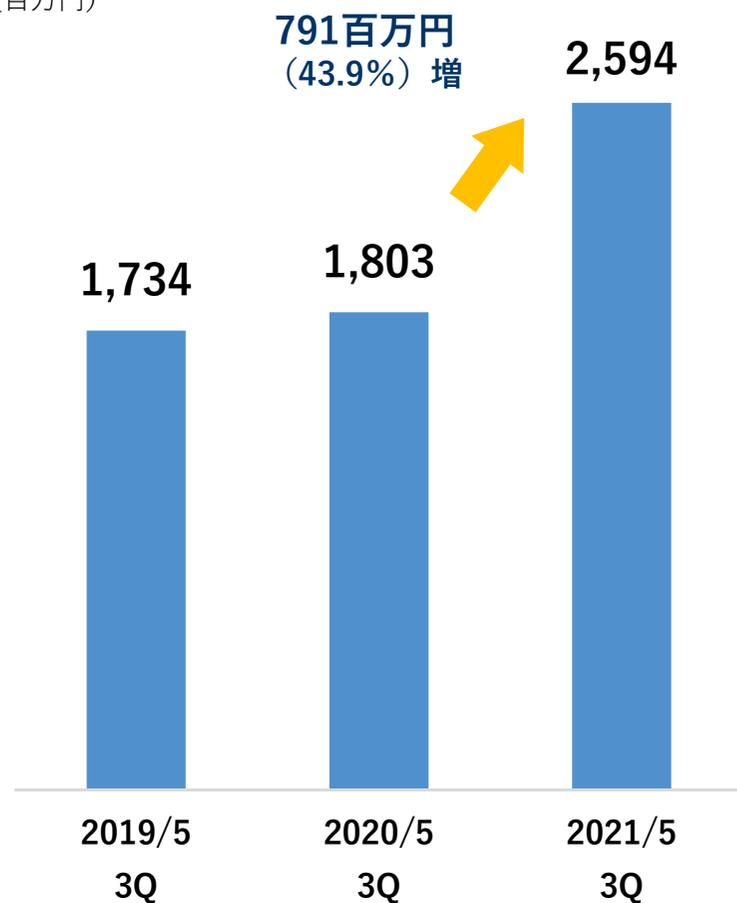
主な関連子会社	 宝印刷	 ASK TOTAL ADVISORS & SUPPORTING KNOWLEDGE
	 3C CONSULTING	  TSS

※印は非連結子会社です。

セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	招集通知、「ネットで招集」、株主総会運営支援、会社法関連翻訳 等
会社法		

(百万円)



主な増減要因

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、株主総会招集通知および関連文書の翻訳の売上が5月から6月にずれ込んだため

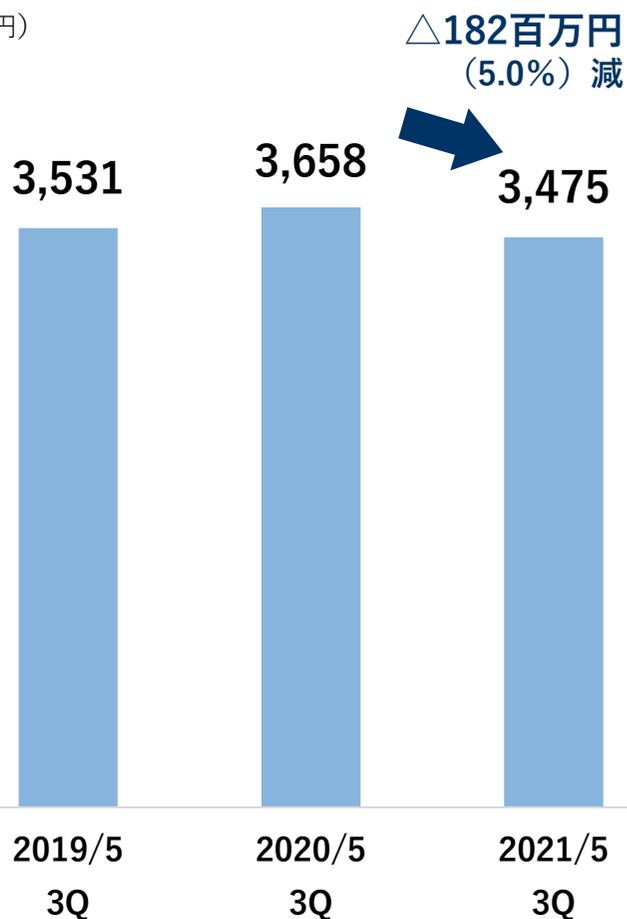
主な
関連
子会社



セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	事業報告書・株主通信、「ネットで株通」、ディスクロージャー誌、統合報告書 等
IR		

(百万円)



主な増減要因

- ・ 事業報告書等の売上が減少
- ・ 統合報告書は作成会社数が増加し堅調に推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により納品月の変更が発生している

主な
関連
子会社

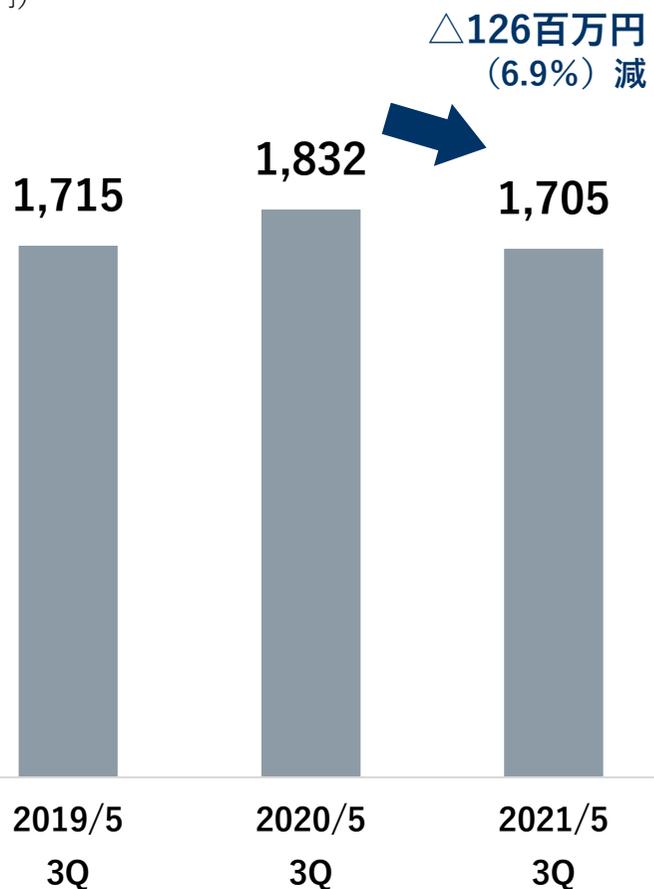


※印は非連結子会社です。

セグメント別売上高 | ①ディスクロージャー関連事業

製品区分別	主なサービス	株主優待関連、WEB制作売上 等
その他		

(百万円)



主な増減要因

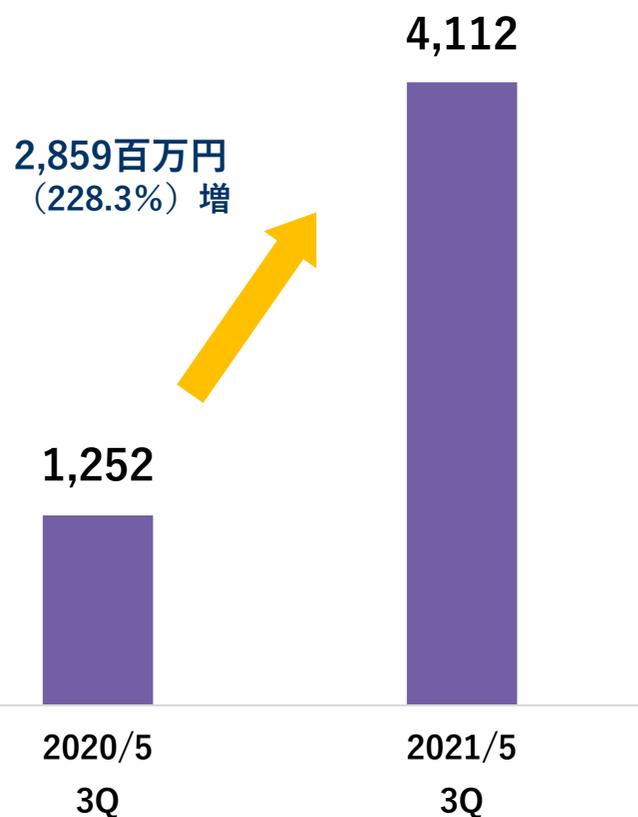
- ・ 株主優待関連の売上が減少

主な関連子会社	 宝印刷 
	 TAKARA INTERNATIONAL HONG KONG LIMITED

セグメント別売上高 | ②通訳・翻訳事業

主なサービス	通訳、通訳機材/遠隔同時通訳プラットフォームの提供、翻訳/ローカライズ、AI翻訳システム、多言語翻訳 等
--------	--

(百万円)



主な増減要因

- ・ 2020年5月期は十印グループのみ連結
- ・ 2021年5月期はサイマル・グループを連結範囲に含める

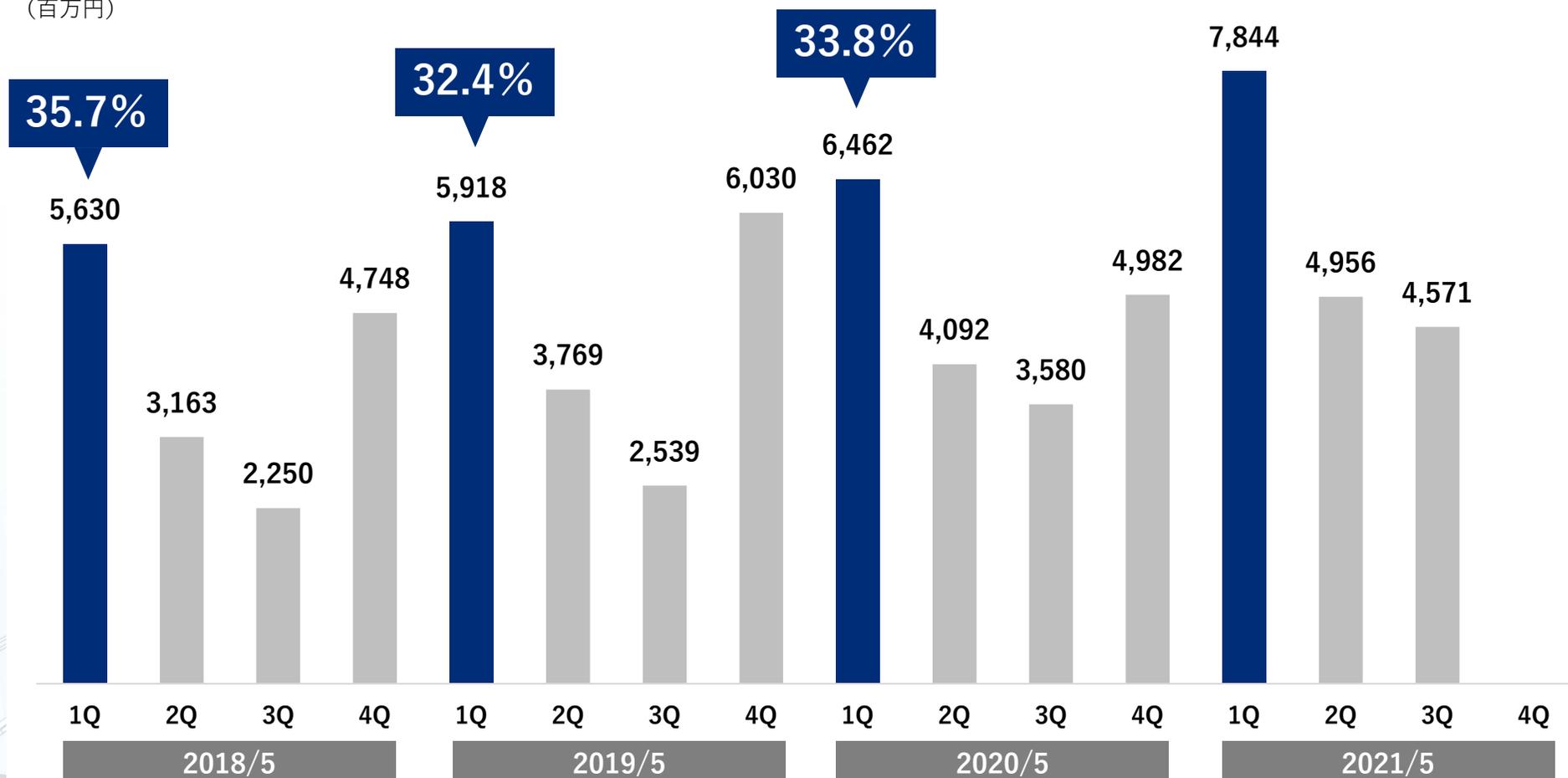
主な
関連
子会社



連結売上高四半期推移

お客様のご決算期が3月に集中していることに伴い季節的変動があり、第1四半期および第4四半期の売上高が他の四半期に比べて多くなる傾向があります。

(百万円)



セグメント別情報

(百万円)	ディスクロージャー 関連事業 (※調整前)		通訳・翻訳事業 (※調整前)		四半期連結損益計算書 計上額 (※調整後)	
	2020/5 3Q	2021/5 3Q	2020/5 3Q	2021/5 3Q	2020/5 3Q	2021/5 3Q
売上高	12,883	13,260	1,276	4,211	14,134	17,372
セグメント 利益又は損失 (△)	1,212	1,409	191	△445	1,580	1,434

※売上高は、前期は△24百万円、当期は△99百万円、調整を行っております。

※セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と、前期は175百万円、当期は471百万円、調整を行っております。

連結損益計算書

(百万円)

	2020/5 3Q	2021/5 3Q	増減	増減率 (%)
売上高	14,134	17,372	3,238	22.9
売上原価	8,553	10,371	1,817	21.2
(原価率)	60.5%	59.7%	0.8Pt	—
売上総利益	5,580	7,001	1,420	25.5
販管費	4,000	5,566	1,566	39.2
営業利益	1,580	1,434	△145	△9.2
(営業利益率)	11.2%	8.3%	△2.9Pt	—
営業外収益	90	185	95	105.6
営業外費用	32	32	0	0.5
経常利益	1,638	1,587	△50	△3.1
特別利益	—	129	129	—
特別損失	24	77	53	218.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,016	817	△198	△19.5

連結貸借対照表

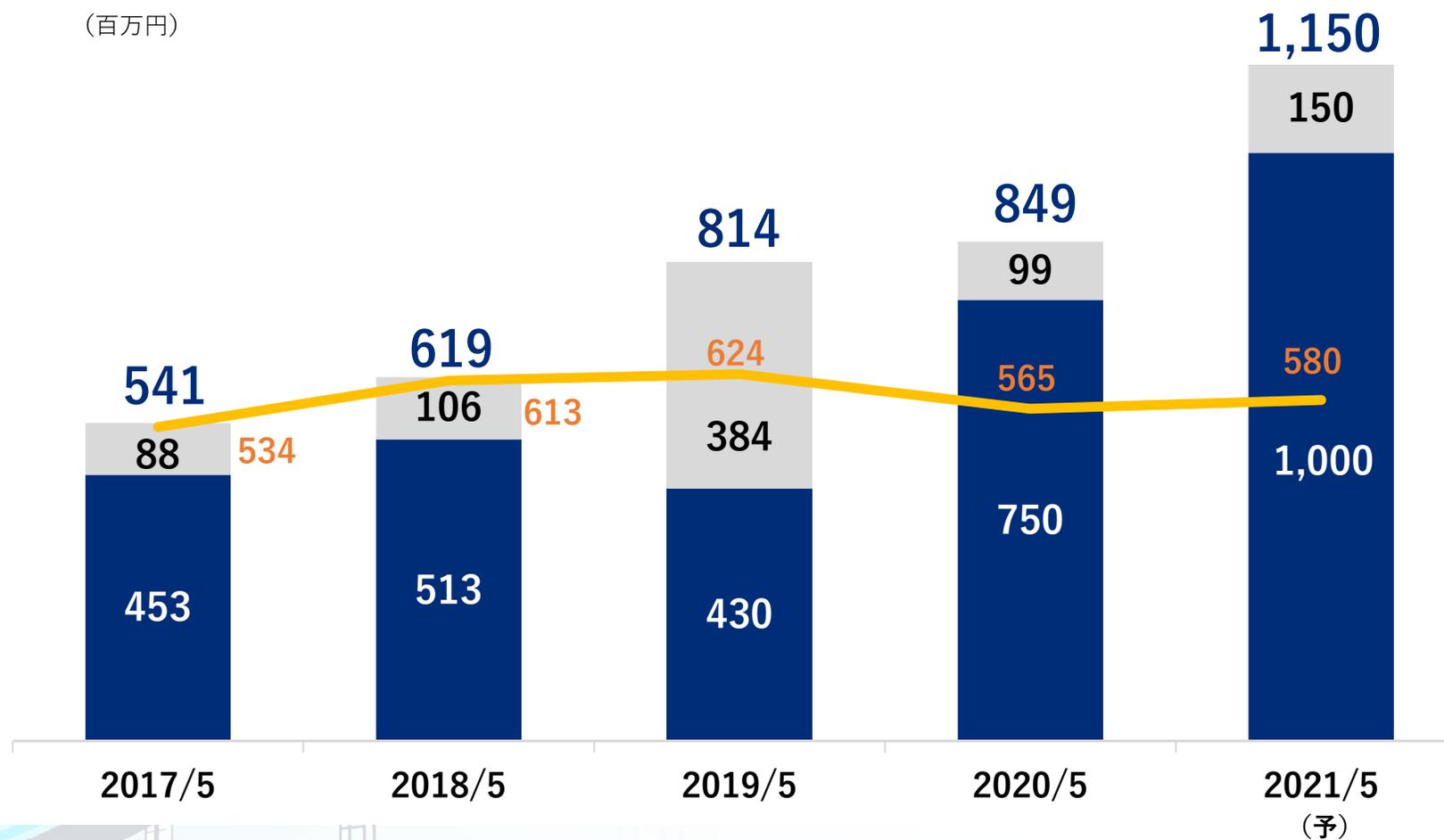
(百万円)

資産	2020/5	2021/5 3Q	増減額	増減率(%)
流動資産 合計	12,470	14,439	1,968	15.8
現金及び預金	7,365	11,099	3,733	50.7
固定資産 合計	13,979	14,595	616	4.4
有形固定資産合計	4,481	4,371	△109	△2.5
無形固定資産合計	5,782	6,009	227	3.9
のれん	2,738	2,581	△157	△5.7
ソフトウェア仮勘定	571	1,113	541	94.7
投資その他の資産合計	3,715	4,214	499	13.4
資産合計	26,450	29,035	2,584	9.8
負債・純資産	2020/5	2021/5 3Q	増減額	増減率(%)
負債合計	9,867	7,813	△2,054	△20.8
流動負債	8,035	6,090	△1,944	△24.2
固定負債	1,832	1,722	△110	△6.0
純資産合計	16,582	21,221	4,639	28.0
資本金	2,049	2,278	228	11.2
資本剰余金	2,010	4,368	2,358	117.3
自己株式	△1,512	△39	1,473	△97.4
負債純資産合計	26,450	29,035	2,584	9.8
自己資本比率	60.8	71.0	10.2Pt	—

設備投資額・減価償却費

- 有形固定資産（印刷機・サーバー維持費）
- 無形固定資産（システム開発費）
- 減価償却費

(百万円)



目次

1. 連結決算概要

2. 主要製品の受注状況

3. 中計2023の進捗状況・成長戦略

4. 株主還元



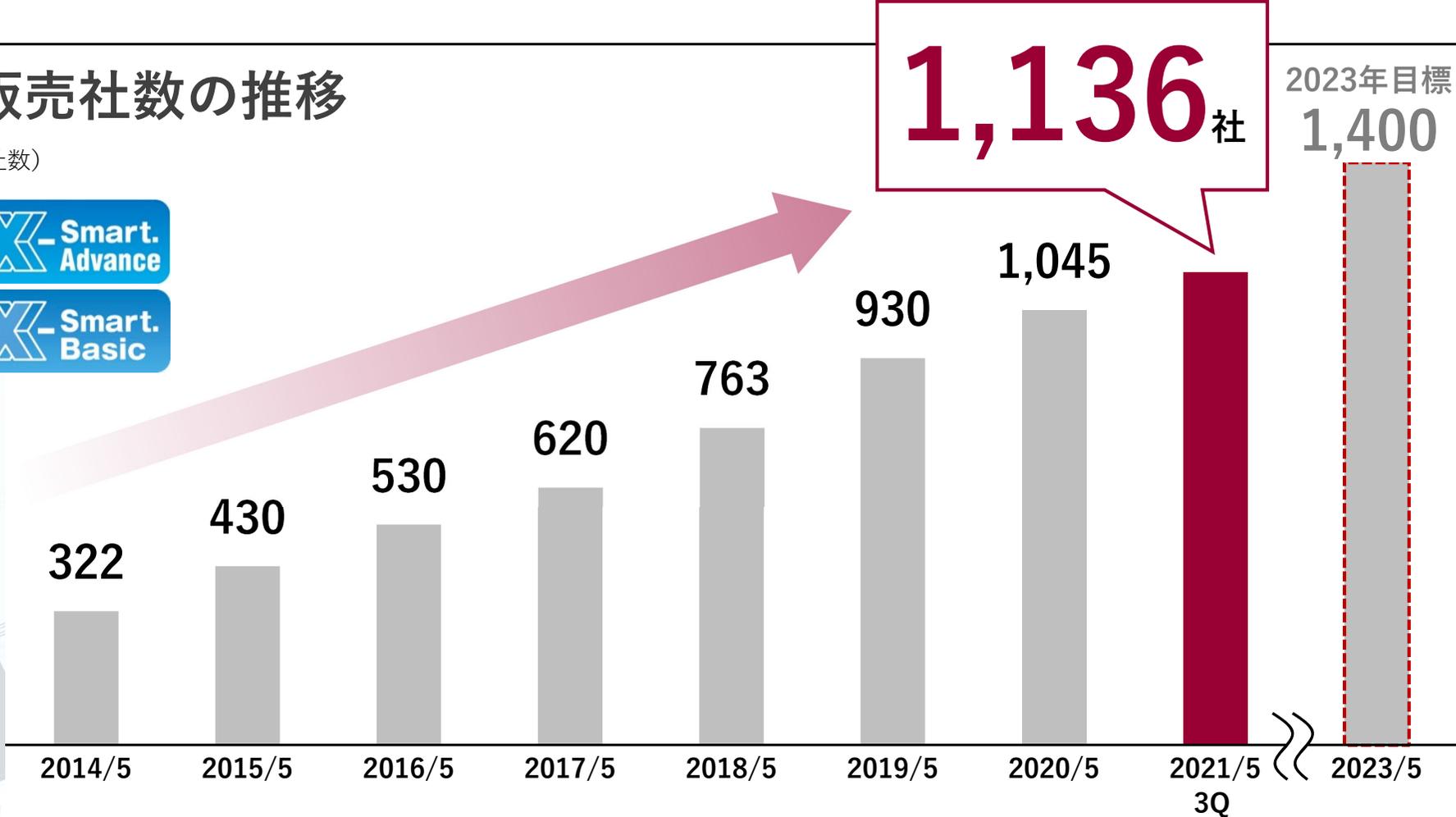
1. X-Smart.Advance (開示書類作成支援ツールの上位機種)

連結会計システムとのAPI連携機能拡張、法人電子申告システム等とのデータ連携機能等、様々な用途において適応可能に

2021年2月末時点

販売社数の推移

(社数)



※グラフは、「X-Smart.Advance」、「X-Smart.Basic」の2つの製品を合算した数値となります。
※API (Application Programming Interface) = ソフトウェア機能を共有する仕組み

2. 次世代 開示書類作成支援ツールのご紹介

金商法

開発コンセプトは“操作性”・“堅牢性”・“拡張性”の同時実現

UI/UXの
大幅改善

堅牢性の
確保



WizLabo
Data Driven Disclosure

拡張性

※UI=User Interface（ユーザーの視覚に触れる全ての部分）

※UX=User Experience（サービスを通じてユーザーが得られる体験）

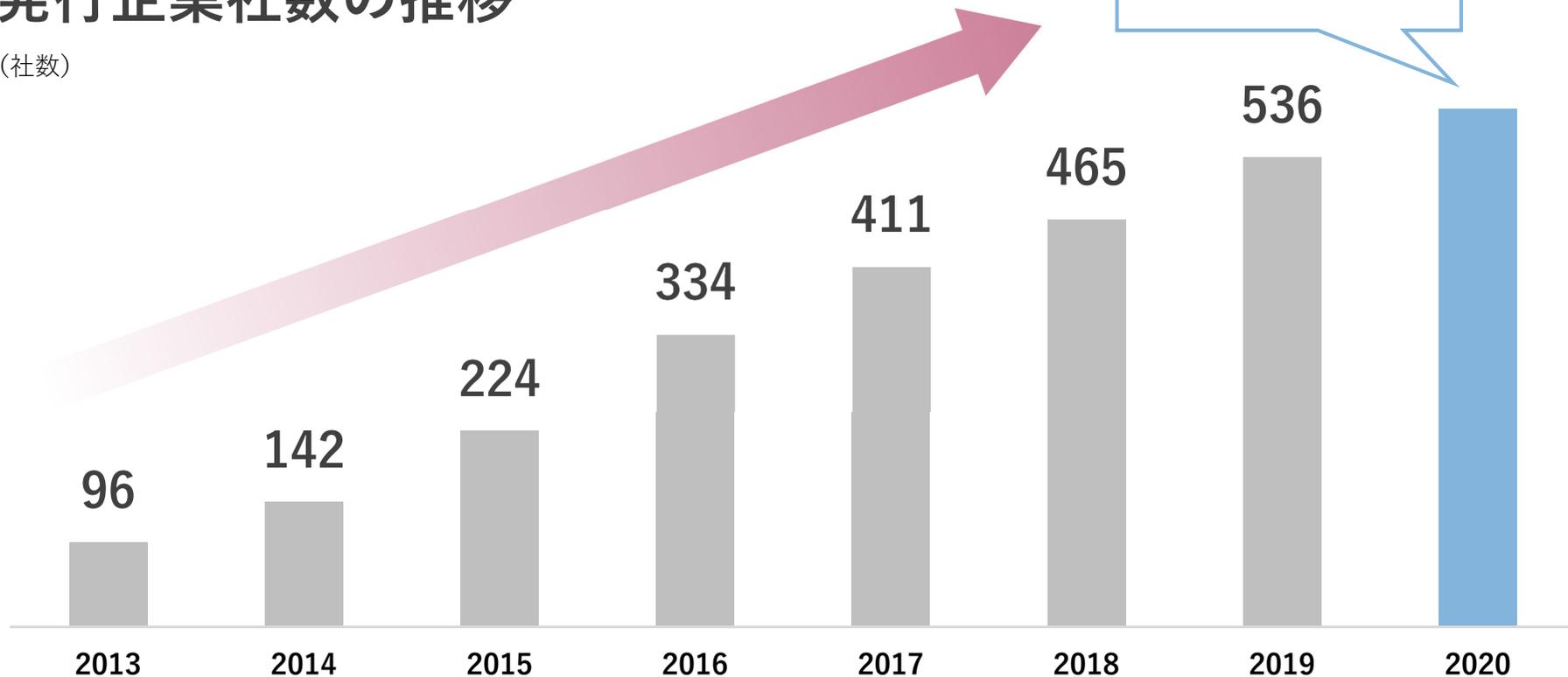
ESG関連書類、売上高19.2%増加 (前年同期四半期比)

2020年12月末時点

591社

発行企業社数の推移

(社数)



※ESG/統合報告研究室調べ。

※「JPX日経インデックス400対象企業」「日経225対象企業」「エコほっとライン掲載企業」「時価総額1,000億円以上の企業」のほか、研究室の調査活動で確認できた企業を対象。

4. ディスクロージャー翻訳

ディスク
ロージャー
関連

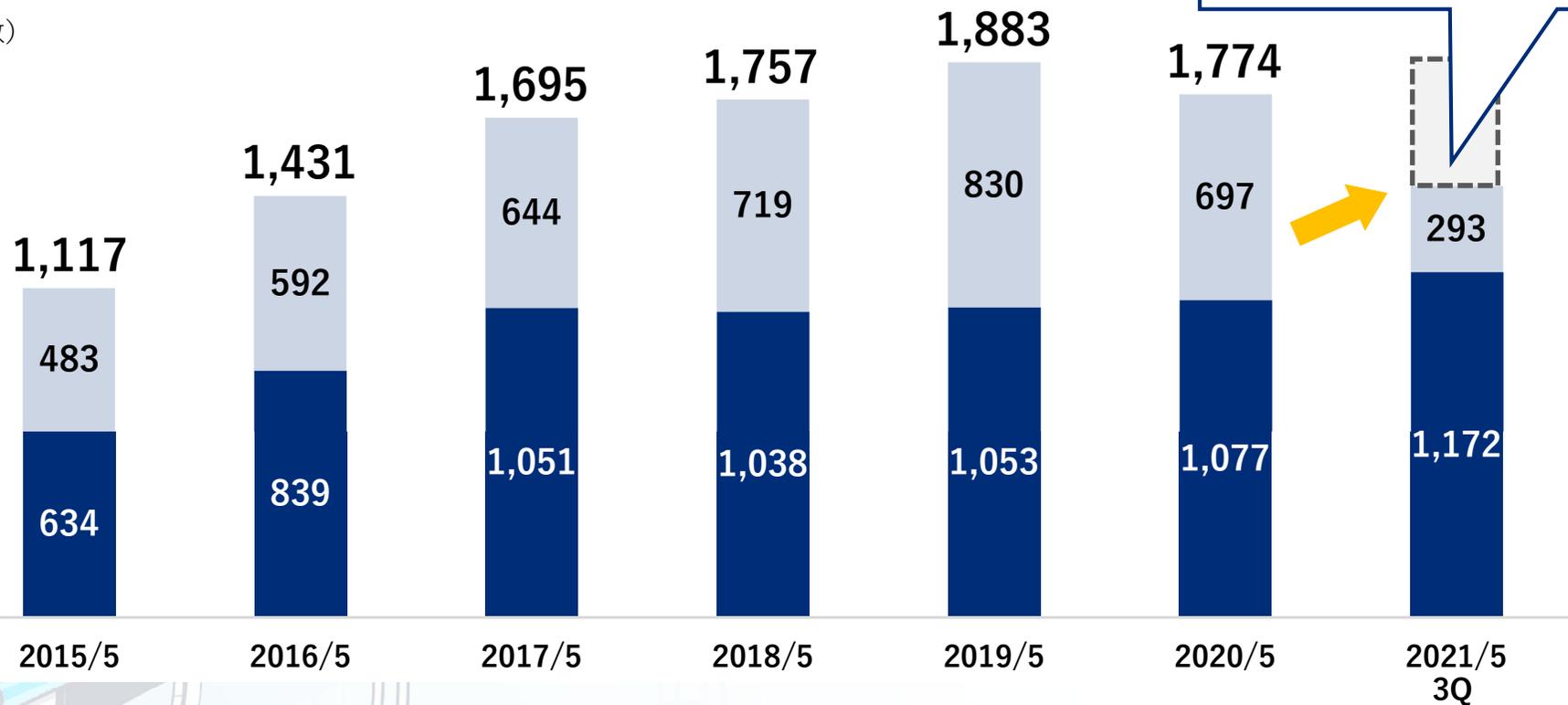
新型コロナ禍においても、招集通知・決算短信等の翻訳ニーズは増加

2021年2月末時点

翻訳受注件数の推移

■ 中間 ■ 期末

(件数)



5. 遠隔同時通訳プラットフォーム

通訳

リモート会議のニーズが増加し、累計受注件数1,000件突破

 × 

累計

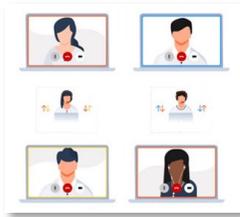
1,016件

interprefyとは？

クラウドベースの遠隔同時通訳プラットフォーム。
インターネットがつながるあらゆる場所から、いつでも、何ヶ国語でも、会議やイベントで同時通訳が利用可能に。

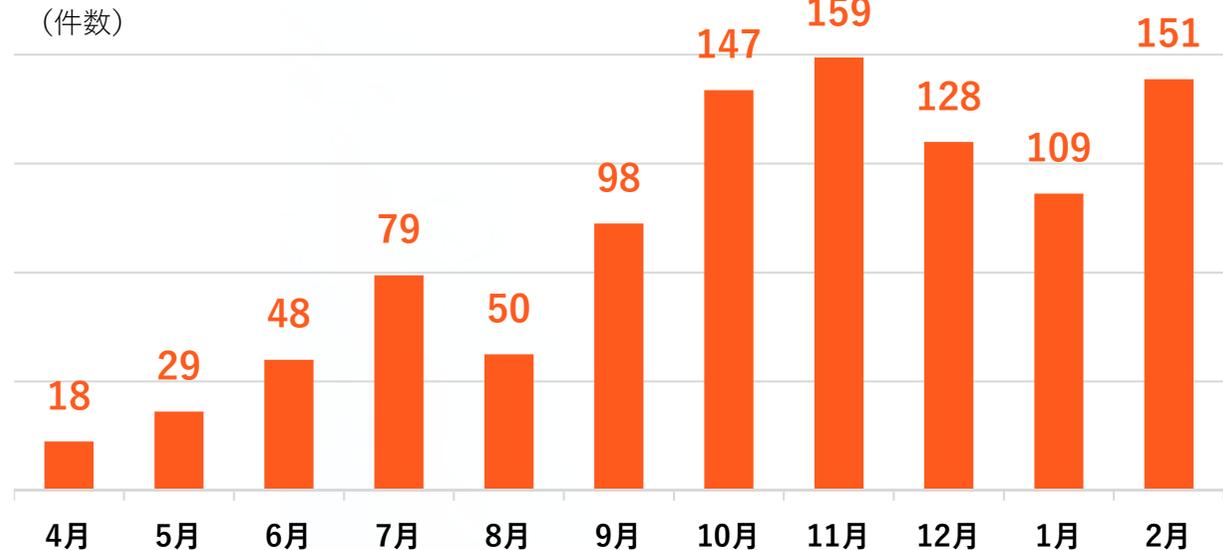


役員会議



テレビ会議

interprefy受注件数の推移



目次

1. 連結決算概要

2. 主要製品の受注状況

3. 中計2023の進捗状況・成長戦略

4. 株主還元



「中期経営計画2023」進捗状況

	2020/5 通期 (実績)	2021/5 3Q (実績)	2021/5 通期 (業績予想)	2023/5 通期 (計画)
売上高	191億円	173億円	265億円	300億円
ディスクロージャー 関連事業	175億円	132億円	—	200億円
通訳・翻訳事業	16億円	41億円	—	100億円
営業利益	22億円	14億円	25億円	29億円
営業利益率	11.8%	8.3 %	9.4%	9.7%
親会社株主に帰属 する四半期(当期)純利益	15億円	8億円	16億円	19億円
ROE	10.0%	—	9.6%	10.0%

afterコロナの成長ビジネス

金融商品 取引法	<ul style="list-style-type: none">● 東証市場再編に伴うCGコンサルティング● 決算・開示業務に関わるアウトソーシング
会社法	<ul style="list-style-type: none">● ハイブリッド型バーチャル総会に伴う動画配信、WEBサービス● 招集通知電子化に対応した「ネットで招集」
IR	<ul style="list-style-type: none">● 決算説明会動画配信（ライブ・オンデマンド）ビジネス● ESGコンサルティング、統合報告書作成支援
通翻訳	<ul style="list-style-type: none">● 遠隔同時通訳プラットフォーム「interpretfy」● 国際会議の復活に伴う通訳需要

目次

1. 連結決算概要

2. 主要製品の受注状況

3. 中計2023の進捗状況・成長戦略

4. 株主還元



株主還元

配当方針

安定配当

(配当性向40~50%目安)

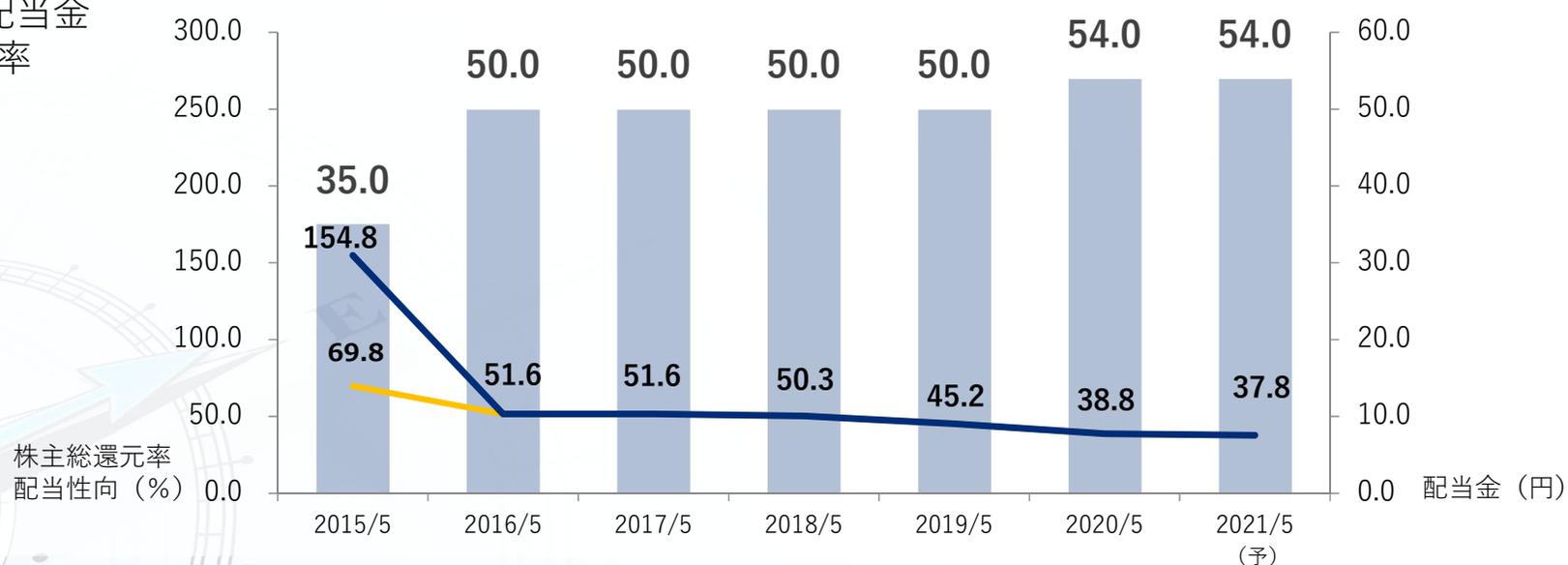
配当金

54.0円

(中間配当金27.0円/期末普通配当金27.0円)

配当金/配当性向の推移

- 1株当たり配当金
- 株主総還元率
- 配当性向





TAKARA
& COMPANY

総務部 広報IR課

WEB <https://www.takara-company.co.jp/>

会社概要

補足資料

商号	株式会社TAKARA & COMPANY
創業	1952年（昭和27年）6月15日
本社所在地	〒171-0033 東京都豊島区高田三丁目28番8号
代表取締役社長	堆 誠一郎
上場取引所	東証一部（証券コード 7921）
決算期	5月
発行済株式総数	13,153千株
株主数	26,891名
従業員数	1,088名（連結）

（2020年11月30日現在）

グループ企業理念

社会の公器としての使命を果たす

目指す姿

グループ各社の専門性を磨き、お客様の企業価値拡大に貢献し、
社会になくってはならないグローバル企業であり続ける

行動指針

- 1・顧客とともに新たな価値を創造する
- 2・倫理と道義を重んじる
- 3・専門能力を高め、顧客とともに成長する
- 4・お互いを認め合い、高め合う
- 5・社会の公器として正しいかどうかを判断基準とする

持株会社体制図

補足資料

TAKARA & COMPANY

